

平成 22 年 7 月 26 日

各 位

『F F G 調査月報 8 月号』発行について

経済調査誌『F F G 調査月報 8 月号』を発行いたしましたのでお知らせいたします。

今月のメインレポートは、産業調査「原油価格を取り巻く環境について」です。

なお、F F G 調査月報は福岡銀行、熊本ファミリー銀行、親和銀行の営業店の窓口に配置しております。

【メインレポート】

産業調査

原油価格を取り巻く環境について

ガソリンをはじめナフサ、重油、軽油等の石油製品の我が国における消費量は 1999 年をピークに減少を続けていますが、2030 年においても引き続き一次エネルギーの主役は石油を中心とした化石燃料となる見込みです。

本レポートでは、“原油” にスポットを当て、「ドル相場」「世界の需給構造(ファンダメンタル)」「投資マネー」「開発コスト」「産油国の財政収支」の 5 つの視点からみた原油価格を取り巻く環境について考察します。

トップに聞く

F F G 3 行の頭取が、各行のお取引先企業を訪問する「トップに聞く」のコーナーです。今月はお取引先企業 4 社を訪問し、経営者の皆様からお話をいただきました。

高城 寿雄 氏（株式会社タカギ 代表取締役）

当社は、常にお客様の目線を意識した商品開発に取り組んでおられる園芸散水・家庭用品のメーカーです。蛇口と浄水器の一体化により開発された蛇口一体型浄水器「みず工房」は非常に好評であり、現在では新築マンションの多くで採用されています。今後は、ベトナムに開設された工場を中心としての海外展開や新たな分野での商品開発にも取り組まれる予定です。

鳥越 徹 氏（鳥越製粉株式会社 代表取締役社長執行役員）

当社は、1877 年(明治 10 年)創業の業歴 133 年を誇る小麦粉やプレミックス等の製粉メーカーです。フランスパン専用小麦粉「フランス」印は、フランス人からも絶賛されたほか、最近では糖質をカットして糖尿病の方でも食べられるようにしたパン「パン d e スマート」等の機能性食品の製造にも注力されており、国内だけでなく欧米市場も見据えた事業展開をされています。

加藤 勝 氏（熊本ドック株式会社 代表取締役社長）

当社は、江戸時代後期安政年間創業の造船メーカーです。古くは漁船等の木造船に始まり、貨物船等の物品運搬船やタグボート(曳航船)、土砂掘削船等の特殊船まで、様々な船舶の建造を可能とする技術力を持っています。今後は、客船やケミカルタンカー、L P G 船等付加価値の高い船舶の建造にも注力されていかれる予定です。

相良 紘一郎 氏（西部産業株式会社 代表取締役）

当社は、第二次世界大戦後、電纜(ケーブル)解体業の許可を取得されており、廃材のリサイクルのほか設備工事や電気機器販売等、幅広く事業展開されています。現在、環境を意識した取り組みとして、太陽光発電システム等の環境対応型商品の販売を促進しているほか、廃棄処分が困難とされるFRP(強化プラスチック)船の解体やリサイクルへの取り組みも検討されています。

経営情報

注目を集めるスマートグリッドの可能性

「スマートグリッド」とは、「情報通信技術等を駆使することにより、電力システムを需要に合わせて安定的かつ効率的に運用することを可能にする次世代型の電力網」のことであり、現在世界的な注目を集めています。今回は、スマートグリッドの概要や関連ビジネスの動向等についてレポートします。

海外レポート

第3回香港・華南地区日系企業ビジネス交流会

福岡銀行は、香港に拠点を有する他の地方銀行16行及び日本貿易振興機構(ジェトロ)と「第3回香港・華南地区日系企業ビジネス交流会」を共催しました。今回のレポートでは、中国広東省深圳市内で香港および中国華南地区に進出されている日系企業を対象にした本交流会の内容についてご紹介します。

海外トピックス

ベトナム・ロンアン省からの訪問団、親和銀行を表敬訪問

ベトナム・ロンアン省の知事や民間企業の代表者等によって結成された訪問団が来日し、親和銀行や佐世保市内の企業を表敬訪問されています。今回は、この表敬訪問の様態をご紹介します。

しーず君の研究室訪問

「九州大学 大学院 芸術工学研究院 藤 智亮 助教」

お母さんの抱っこの揺れを再現する電動ベビーベッドを開発！

お母さんにとって子育ては、体力を必要とします。特に夜泣きする赤ちゃんが泣き止むように抱っこしてあやしてあげることが大変です。そのようなお母さんのために、赤ちゃんにとって最も心地よいとされる揺れを再現した電動ベビーベッド「suima(スイマ)」が開発されました。この「suima(スイマ)」の商品化に至るまでの経緯についてご紹介します。

<<本件に関する問い合わせ先>>

株式会社 FFGビジネスコンサルティング 企画調査部(担当)池田、横尾

電話：092-723-2576 FAX：092-761-8846